

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	障害者の社会参加促進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	保健福祉部	課等名	福祉課		包含する細々目	1	3	1	3	19	1	1,000	
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり												
施策	34 障害者福祉の推進												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		長野県障害者プラン 飯田市障害者プラン 飯田市障害福祉計画 障害者社会参加促進事業実施要綱					
		事業期間	11	年度～		年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	65歳未満で在宅の身体・知的・精神障害者。 人工膀胱見患者等見舞金事業予想対象者	65歳未満の在宅で各手帳保持者の概算数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
				2200	2400	
	人工膀胱患者等見舞金事業予想対象者(人)	人工膀胱患者等見舞金事業予想対象者(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
				10	10	
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	障害者の在宅生活への意欲を高めるため、積極的に社会参加をしてもらう。 人工膀胱患者等見舞金支給者	社会参加事業利用障害者数 / 在宅の障害者概算数(%)	18目標	1	最終目標	1.1
			18実績	1	19目標	1
		23目標	1.1	23実績		最終目標達成年度
		人工膀胱見舞金等見舞金支給者(人)	18目標	10	最終目標	10
		18実績	2	19目標	10	
		23目標	10	23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	障害者自身が一般社会へ参加したり、参加しようとする意欲を高めるための支援をする。 【主な事業】 1 人工膀胱患者等見舞金事業 2 障害者余暇活動支援事業	1. 人工膀胱患者等見舞金事業 人工透析患者等見舞金事業を見直し人工膀胱患者等見舞金に切り替え。 2. 障害者余暇活動支援事業 障害者のレクリエーションや趣味の活動を実施する社会福祉法人等に補助金を交付する。	見舞金支給者(人) 余暇活動を実施した法人数(数)	2 3
	18年度の実績			
	19年度計画	1. 人工膀胱患者等見舞金事業 人工膀胱患者等見舞金事業は廃止を含め事業の見直しを検討。 2. 障害者余暇活動支援事業 障害者のレクリエーションや趣味の活動を実施する社会福祉法人等に補助金を交付する。	見舞金支給者(人) 余暇活動を実施した法人数(数)	2 3

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金	450	450
	起債		
	その他		
一般財源	470	550	
事業費計(A)	920	1,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度 40
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	143
	トータルコストA+B	1,063	1,143

特定財源内訳や補足事項	障害者余暇活動支援事業の1/2は県支出金。
-------------	-----------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	安心して地域で日常生活が送られる	安心して地域で日常生活が送れている割合	現状値	68	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	68
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 平成16年度から県の補助事業として開始。	事業を取り巻く状況の変化 自立支余暇活動支援事業は現行どおり継続。 人工透析患者等見舞金は人工膀胱患者等見舞金に切り替え。	事業に対する市民や議会の意見
---------------------------------------	---	----------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 障害者が自立や社会参加をしようとするには必要な事業である。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 障害者のニーズに合わせて事業の再構築が必要。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 対象者は変わらない		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 障害者の社会参加促進の機会が失われることが予想される。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 障害者が社会参加したいというニーズは変わらない		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 障害者自らが、社会参加の機会を持つことは困難な面もあり、市が関与する必要がある。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 事務量が必要最小限であるためこれ以上は人件費を削減できない。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 障害者余暇活動支援事業は、利用者負担金がある。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 19 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 人工膀胱見舞金は廃止を含め事業の見直しを検討。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	